

科目名	現代の国語	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 普通科	1年1組 1年2組
学習の到達目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力を伸ばす。 2 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校 標準現代の国語 (第一学習社)	
評価						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		国語の知識や技能を身につけ、実社会に役立てようとしている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現		自分の思いや考えを広げたり深めたりして、伝え合う力を身につけている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度		言葉を通して他者への理解を深め、社会に関わろうとしている。			・授業態度 ・ポートフォリオ	
学習計画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	○オリエンテーション ○単元 世界を広げる 「なぜ本を読むのか」(随筆) 「世界は謎に満ちている」(リ) ○単元 言葉が開く世界 「言葉遣いとアイデンティティ」 ○言語活動(1) 話し方の工夫・待遇表現・論理的な表現		・高校の国語の授業や勉強方法について理解する。 ・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。			中間・期末
2 学 期	○単元 人間と文化 「水の東西」(評論) 「ステレオタイプの落とし穴」(評論) ○単元 生活の中の表現 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 ○単元 社会と人間 「人はなぜ仕事をするのか」 ○言語活動 「情報の探索と選択」 「スピーチで自分を伝える」 「相手に伝える案内をする」		・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・ステレオタイプとは何かを説明するための論展開を把握し、筆者の主張について理解を深める。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・目的に沿って相手に配慮しながら案内する方法を理解する。			中間・期末
3 学 期	○単元 現代と社会 「イースター島になぜ森がないのか」 「黄色い花束」 ○言語活動 「書き方の基礎レッスン」 「地域の魅力を紹介する」 「社会に対する意見文を書く」		・筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・戦争や平和について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・表記・表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。			学年末
【技能審査の成果の単位認定】						
・在学中に「日本漢字能力検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「現代の国語」の単位数に2単位を加えることができる。						

科目名	言語文化	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 1年1組 普通科 1年2組	
学習の到達目標	言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。			教科書・副教材等	高等学校 標準言語文化（第一学習社）	
評価規準						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。			・定期考査 ・話し合い ・学習課題の提出	
思考・判断・表現		「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			・定期考査 ・話し合い ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。			・授業態度 ・ポートフォリオ	
学習計画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	とんかつ（三浦哲郎） 兄のそら寝（宇治拾遺物語集） 羅生門（芥川龍之介） 漢文入門		・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・場面の展開をとらえ、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知らせる。			中間・期末
2 学 期	よろこびの歌（宮下奈都） 絵仏師良秀（宇治拾遺物語） 詩の楽しみ 道程（高村光太郎） 小景異情（室生犀星） 二十億光年の孤独（谷川俊太郎） 故事成語 五十歩百歩（孟子） 矛盾（韓非子）		・主人公「私」の心情の動きを読み取る。 ・積極的に説話を読ませ、叙述に基づいて人物造形の面白さを捉える。 ・近代詩の鑑賞の仕方を理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・それぞれの詩の発想のおもしろさや、優れた表現を理解する。 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。			中間・期末
3 学 期	夢十夜（夏目漱石） 枕草子（清少納言） 鏡（村上春樹）		・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作者の感性の細やかさに気付かせ、現代に相通ずる美意識を理解する。 ・幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。			学年末

科目名	文学国語	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組	
学 習 の 到達目標	幅広い文学作品に触れる意義を理解し、多様な解釈をし、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を身に付ける。			教科書・副教材等	新 文学国語（三省堂）	
評 価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	・文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現技法を理解し、わが国の言語文化の特質について理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表現する語彙を増やし、文章の中で用いることが出来る。				・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現	・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 多様な解釈に基づいて、文学的な作品を創作したり、文章の構成や展開、表現を工夫して書いたりすることが出来る。				・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	・言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	二十億光年の孤独 （谷川俊太郎） 予感（青山七恵） みんなで作るリレー小説 山月記（中島敦） 少年という名前のメカ （松田青子）		・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する ・読み手に興味を持たせる構成や展開の工夫をする。 ・心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。			中 間 ・ 期 末
2 学 期	創造からの語り 〈「未知へ」「夕焼け」 「売翁炭」〉 こころ（夏目漱石） 物語もっと深読み教室 永訣の朝（宮沢賢治） たけくらべ （樋口一葉・川上未映子訳）		・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する ・出来事の経過にそって、登場人物の気持ちの推移を理解し、適切にまとめる。			中 間 ・ 期 末
3 学 期	現代に甦る歌物語 項羽と劉邦—『史記』を読む 花山天皇の退位—『大鏡』を 読む 誘惑する書評		・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、自由に想像した物語を、表現を工夫して書く力を身に付ける。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえたりして、自分の文章の特長や課題を捉え直す。			学 年 末

科目名	論理国語	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組	
学習の到達目標	言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識・技能を身に付け、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、言語文化の担い手として言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			教科書・副教材等	新 論理国語（三省堂）	
評価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、文章に含まれる情報を理解し、整理する方法について理解している。				・ 定期考査 ・ 言語活動 ・ 学習課題の提出	
思考・判断・表現	情報の妥当性や信頼性を吟味して自分の主張を支える根拠を示しながら、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、論点を明確にして的確に伝えることができる。				・ 定期考査 ・ 言語活動 ・ 学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				・ 授業態度 ・ 言語活動 ・ ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	若者に友達プレッシャー （辻大介）	・ 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。				中間・期末
	情報を整理する	・ 論証したり学術的な内容を学んだりするために必要な語句の量を増し、書き手の立場や論点など様々な観点から情報を収集、整理し、目的や意図に応じた題材を選ぶ。				
	一人で爆笑（飯間浩明）	・ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				
	カタカナ語は享受すべきか	・ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、内容や構成を的確に捉える。				
2 学 期	多様な視点から考える （前田健太郎） 女性／男性だから〇〇 （瀬地山角） 落語の中の経済学（大竹文雄）	・ 推論の仕方について理解を深める。				中間・期末
	レポートを書く	・ 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げ、根拠を明確にして意見文を書く。				
		・ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。				
		・ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて、主張を明確に伝える構成を学ぶ。				
3 学 期	情報の内容を吟味する	・ 情報を重要度や抽象度などによって階層化し整理する方法について理解を深め、その情報を活用して意見を述べる。				学年末
	「すべり台社会」と『溜め』 （湯浅誠）	・ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。				
	地球上の「旅人」 （ヤマザキマリ） スポーツとナショナリズム （阿部潔）	・ 表現の仕方と書き手の意図との関係を捉える。				
		・ 設定した題材に関連する複数の資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。				

科目名	文学国語	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）
学 習 の 到達目標	幅広い文学作品に触れる意義を理解し、多様な解釈をし、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を身に付ける。			教科書・副教材等	新 文学国語（三省堂）
評 価					
観 点		評 価 規 準			方 法
知識・技能		・ 文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現技法を理解し、わが国の言語文化の特質について理解している。 ・ 情景の豊かさや心情の機微を表現する語彙を増やし、文章の中で用いることが出来る。			・ 定期考査 ・ 言語活動 ・ 学習課題の提出
思考・判断・表現		・ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・ 多様な解釈に基づいて、文学的な作品を創作したり、文章の構成や展開、表現を工夫して書いたりすることが出来る。			・ 定期考査 ・ 言語活動 ・ 学習課題の提出
主体的に学習に取り組む態度		・ 言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			・ 授業態度 ・ 言語活動 ・ ポートフォリオ
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	二十億光年の孤独 （谷川俊太郎） 予感（青山七恵） みんなで作るリレー小説 山月記（中島敦） 少年という名前のメカ （松田青子）		・ 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・ 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する ・ 読み手に興味を持たせる構成や展開の工夫をする。 ・ 心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・ 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。		中間・期末
2 学 期	創造からの語り 〈「未知へ」「夕焼け」 「売翁炭」〉 こころ（夏目漱石） 物語もっとと深読み教室 永訣の朝（宮沢賢治） たけくらべ （樋口一葉・川上未映子訳）		・ 登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・ 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する ・ 出来事の経過にそって、登場人物の気持ちの推移を理解し、適切にまとめる。		中間・期末
3 学 期	現代に甦る歌物語 項羽と劉邦―『史記』を読む 花山天皇の退位―『大鏡』を 読む 誘惑する書評		・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深め、自由に想像した物語を、表現を工夫して書く力を身に付ける。 ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・ 伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえたりして、自分の文章の特長や課題を捉え直す。		学年末

科目名	古典探究	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 2年2組（選択）	
学 習 の 到達目標	古文や漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深める。			教科書・副教材等	精選古典探究（大修館書店）	
評 価						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション 説話『十訓抄』 故事成語 助長・知音 随筆（一） 『徒然草』 『方丈記』 史伝 『史記』鴻門の会 物語（一） 『伊勢物語』		・古典の授業や勉強方法について理解する。 ・登場人物の行動に注意して読み、場面の展開を把握する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。 ・故事成語の叙述のおもしろさを味読する。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、『徒然草』の魅力をとらえる。 ・作者の思想の基調を理解する。 ・対句的表現や比喩などの修辞技巧を理解し、的確な描写とその表現効果について考える。 ・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ・様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ・『史記』と司馬遷についての知識をまとめる。 ・歌物語の特徴、和歌と地の文との関係や表現技巧を理解し味読する。 ・当時の人々の生き方、生活や文化、ものの見方や考え方などへの認識を深める。			中 間 ・ 期 末
2 学 期	随筆（二） 『枕草子』 史伝 『史記』四面楚歌 物語（二） 『大鏡』 物語（二） 『平家物語』 漢詩 一近体詩一 日記 『土佐日記』		・作者の人物と感性の特質を理解し、個性的な感想のおもしろさを味わう。 ・平安時代の宮中の様子、特に作者と周囲の人物とのかかわりについて正確に把握し、当時の中国文化の影響について認識を深める。 ・漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 ・『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 ・登場人物の関係、その行動や心情をとらえ、人物や事件について、作者がどのように思っているかを考える。 ・敬語の意味と用法について整理し理解する。 ・物語の展開に焦点を当てて読み、登場人物の言動、心情、生き方を読み取る。 ・軍記物語としての、すぐれた情景描写の表現を味わい、音便の多用、漢詩文の引用などの特徴を理解する。 ・唐代の詩を繰り返し音読し、漢文独特の口調に習熟する。 ・近体詩の形式や表現、対句などの近体詩の技法を理解する。 ・人生観や自然観についての認識を深め、文学作品を鑑賞する能力を高める。 ・日記としての形式や、文体、作者の意図について理解し、作者の心情を味わって読み、古人の旅についての理解と認識を深める。			中 間 ・ 期 末
3 学 期	日記 『更級日記』 文章 『陶淵明集』 桃花源記 物語（三） 『源氏物語』 思想－諸子百家の教え－		・物語作品などへのあこがれと夢を抱く作者の心情を理解する。 ・散文表現の特色を理解し、作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。 ・作者の社会批判の精神を理解する。 ・それぞれの場面、登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・物語中の人物描写などを味読し、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。 ・敬語をはじめ読解の前提となる文法知識を身に付ける。 ・繰り返し読み、暗唱することを通して中国古代思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにする。			学 年 末

科目名	文学国語	単 位 数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学 習 の 到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。			教科書 ・ 副教材等	新 文学国語（三省堂）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	・ 文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現技法を理解し、わが国の言語文化の特質について理解している。 情景の豊かさや心情の機微を表現する語彙を増やし、文章の中で用いることが出来る。			・ 定期考査 ・ 言語活動 ・ 学習課題の提出	
思考・判断・表現	・ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・ 様な解釈に基づいて、文学的な作品を創作したり、文章の構成や展開、表現を工夫して書いたりすることが出来る。			・ 定期考査 ・ 言語活動 ・ 学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	・ 言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			・ 授業態度 ・ 言語活動 ・ ポートフォリオ	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	月科水木金土日（川上弘美） 源氏物語－北山の垣間見 （紫式部 原作 角田光代 訳） 想像への畏敬－大和路を行く（リービ英雄） ことばの不思議（穂村 弘） 竹取物語－かぐや姫の昇天 （森登美彦 訳）	・ 言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・ 設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分の物の見方、感じ方、考え方を深める。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解する。 ・ 文学的な文章やそれに関する分の種類や特徴などについて理解を深める。 ・ 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、ものの見方、感じ方、考え方を深める。			中 間 ・ 期 末
2 学 期	ピクニックの準備 （恩田 陸） 雨月物語－浅茅が宿－ 古潭〔桃花源記〕 「虫めづる姫君」の観察眼 調査・研究型小論文を書く 星の王子様（サンテグジュペリ） ナガサキの郵便配達 （ピータータウンゼント）	・ 現代社会における文学の広がりを考える。 ・ 文学作品の二次的な創作に挑戦する。 ・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・ 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 ・ 作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・ グローバル化が進む世界の中での文学の価値や、未来に向けての文学との向き合い方を、翻訳文学を読むことを通して考える。 ・ 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。			中 間 ・ 期 末
3 学 期	山椒魚（井伏鱒二） 珊瑚のリング（吉本ばなな） 文学の未来（小野正嗣）	・ 人間の持つ本性や人間の存在について考える。 ・ 文学作品についての論評に触れ、文学の意義や価値について理解を深める。			実施なし

科目名	国語探究B	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組（選択）	
学 習 の 到達目標	評論や報告文を読むにあたって必要な現代社会の用語やその意味・使い方などを学習させた上で、実際に自分の意見を論理的に構築して、小論文として書いていく力を身に付けさせる。			教科書・副教材等	サクセス 小論文講座 (桐原書店)	
評 価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。				・授業態度、発言、提出物の状況	
思考・判断・表現	必要な情報を用いて適切な表現による文章を作ったり、目的や場に応じて効果的な話をしたり、的確に聞き取ったり話し合ったりしながら、自分の考えを深め発展させている。				・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
主体的に学習に取り組む態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。				・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 知識と情報 環境と生態系の保全 食の確保と安全 森林と地球温暖化 持続可能な社会 日本の農業		・原稿用紙の使い方、禁則処理等の既習事項の定着を図る。 ・原稿用紙に意見を書く。 ・現代社会の、主に農業や科学の分野で問題となっているものについて、その現状を学習する。			学 期 末
2 学 期	2 小論文の実践 要約の仕方 キーワードの見つけ方 課題の主旨をつかむ 意見を決める 理由付けをする 反証の仕方		・課題文を要約する練習をする。 ・小論文の基本的な書き方をもとに、実際の自分の意見を小論文に書く。 ・例題に沿って、さまざまなパターンの小論文を練習する。			学 期 末
3 学 期	3 さまざまな課題 問題提起の仕方 課題のタイプと書き方 効果的な具体例の出し方		・課題文の読解と、そこから問いを立てる方法を身に付ける。 ・より説得力のある小論文になるよう、具体例を工夫する。			実施なし

科目名	論理国語	単 位 数	2	学科・学年・学級	普 通 科 3年2組	
学 習 の 到達目標	言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識・技能を身に付け、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、言語文化の担い手として言語を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			教科書・副教材等	新 論理国語（三省堂）	
評 価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、文章に含まれる情報を理解し、整理する方法について理解している。				・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現	情報の妥当性や信頼性を吟味して自分の主張を支える根拠を示しながら、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、論点を明確にのして的確に伝えることができる。				・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考査
1 学 期	具体と抽象の関係を理解するために 人類による環境への影響（鷲谷いづみ） プラスチックごみについて考える 説得力のある文章を書く 批評するために 言語ゲームと哲学的感度（永井均） 日本漫画のブルーオーシャン戦略（中山淳雄）	・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 ・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を調べたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 ・関連する文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。				中間・期末
2 学 期	論理の明晰さを確かめる 報告文を書く 情報を関連付け自分の解釈を形成するために 学びとは何か（今井むつみ） 「知る」ということ（加藤周一） 自己推薦文を書く	・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫する。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。				中間・期末
3 学 期	解釈を広げたり深めたりするために 科学には限界があるか（湯川秀樹） リスク社会論（大澤真幸） 卒業論文を書く	・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりする。 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。				実施なし

科目名	文学国語	単 位 数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組（選択）	
学 習 の 到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。			教科書 ・ 副教材等	新 文学国語（三省堂）	
評 価						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		・文学的な文章における文体の特徴や習字などの表現技法を理解し、わが国の言語文化の特質について理解している。 情景の豊かさや心情の機微を表現する語彙を増やし、文章の中で用いることが出来る。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現		・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・様な解釈に基づいて、文学的な作品を創作したり、文章の構成や展開、表現を工夫して書いたりすることが出来る。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度		・言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。			・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	月科水木金土日（川上弘美） 源氏物語－北山の垣間見 （紫式部 原作 角田光代 訳） 想像への畏敬－大和路に行く（リービ英雄） ことばの不思議（穂村 弘）		・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・設定した題材に関連する複数の作品などをもとに、自分の物の見方、感じ方、考え方を深める。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解する。			中 間 ・ 期 末
	竹取物語－かぐや姫の昇天 （森登美彦 訳）		・文学的な文章やそれに関する分の種類や特徴などについて理解を深める。 ・設定した題材に関連する複数の作品などを基に、ものの見方、感じ方、考え方を深める。			
2 学 期	ピクニックの準備 （恩田 陸）		・現代社会における文学の広がりを考える。 ・文学作品の二次的な創作に挑戦する。			中 間 ・ 期 末
	雨月物語－浅茅が宿－ 古潭〔桃花源記〕 「虫めづる姫君」の観察眼 調査・研究型小論文を書く		・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 ・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。			
	星の王子様（サンテグジュペリ） ナガサキの郵便配達 （ピータータウンゼント）		・グローバル化が進む世界の中での文学の価値や、未来に向けての文学との向き合い方を、翻訳文学を読むことを通して考える。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。			
3 学 期	山椒魚（井伏鱒二） 珊瑚のリング（吉本ばなな） 文学の未来（小野正嗣）		・人間の持つ本性や人間の存在について考える。 ・文学作品についての論評に触れ、文学の意義や価値について理解を深める。			実施なし

科目名	古典探究	単 位 数	3	学科・学年・学級	普通科 3年2組（選択）	
学 習 の 到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。			教科書 ・ 副教材等	精選古典探究（大修館書店）	
評 価						
観 点	評 価 規 準				方 法	
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。				・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				・授業態度 ・言語活動 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い				考查
1 学 期	説話 『古今著聞集』 『今昔物語』 故事・逸話 『十八史略』 随筆 『枕草子』 物語（一） 『堤中納言物語』 漢詩〔古体詩〕 物語（一） 『大鏡』	・読解と鑑賞によって、古文を読む能力を高める。 ・人物の心情や行動に注目して読み味わう。 ・長文に読み慣れ、読解して鑑賞する能力を高め、「三国志」から生まれた故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。 ・三国時代の情勢を理解し、主従の関係を越えた人のつながりの深さや知謀の駆け引きの巧みさを学び、人間の生き方を考える。 ・会話や敬語に注意して、登場人物の関係を把握する。 ・作品の“場”としての宮廷の日常生活のあらましを理解する。 ・当意即妙の、言葉によるやりとりのおもしろさを読み取る。 ・作品に表れた人間・社会・自然などに対する思想や感情を理解し、生活や人生について考え、物の見方、感じ方、考え方などを豊かにする。 ・古典を読むことをとおして日本の文化・伝統についての神式を深め、古典の世界に親しもうとする態度を養う。 ・朗読や暗唱をすることで、漢詩の歯切れの良さやリズム感を実感する。 ・古体詩に関する知識を得ることで、近体詩の特徴を理解する。 ・『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解する。 ・登場人物の才能、行動、心情を作者がどのようにとらえているかを考える。				中 間 ・ 期 末
2 学 期	日記 『蜻蛉日記』他 史伝 『史記』 物語（二） 『源氏物語』 文章 春夜宴桃李園序 近世の俳諧 俳句／市中の巻 思想 老子・韓非子	・時代背景、登場人物の関係について理解する。 ・作者の女性としての境遇がこれらの作品を生む契機となったことを認識し、作者の心情を理解する。 ・『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写の見事さを鑑賞する。 ・故事成語などを理解し、言語感覚を豊かにする。 ・登場人物の人物を把握し、心情や性格について理解を深めるとともに、読解を通じて、人間観や歴史観を知り、人生や運命について考えを深める。 ・『源氏物語』を資料や辞典を使って自分の力で読む姿勢を確立する。 ・場面の状況や人物の心理を正確にとらえる。 ・和歌や自然描写などを味読し、作品を取り巻く時代の習俗や文化的環境についての理解を深める。 ・敬語に注意して、人物関係を把握する力を高める。 ・盛唐の李白の作品を読み、作者の人間観や人間性について理解する。 ・作品の背景となる、作者と社会、作者の境遇との関連について考える。 ・俳諧に関する基本的事項を知る。 ・発句の情景や感動の中心をとらえ、多様な方法でそれらを表現したり、批評したりする。 ・道家・墨家・法家の「愛」のとらえ方の違いと、各思想の特質を理解する。 ・人間のあり方や生き方、ものの考え方などを理解し、現代的意義を考える。				中 間 ・ 期 末
3 学 期	芸能 『風姿花伝』 『曾根崎心中』	・古典芸能に用いられる言語の美しさを味わう。 ・言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解する。 ・脳・浄瑠璃に関するものの見方や考え方の特徴を理解する。				実施なし

科目名	国語探究A	単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年2組（選択）	
学 習 の 到達目標	・地域社会に根付く郷土の文学者・文学作品に広く触れることで、自分に近いものとして文学を味わう。 ・古代・中世・近世それぞれの作品に親しみ、古典読解の発展力を養う。 ・地域の特性と文学の関係性について考えを深める。			教科書・副教材等	高校生のための愛媛の文学（愛媛県高等学校教育研究会国語部会）	
評 価 規 準						
観 点		評 価 規 準			方 法	
知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、古代から近・現代の文学を適切に読み取ることができる。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
思考・判断・表現		地域の特性と文学の関係性について考えることを通して、地域の文化に対する考えを深めることができる。			・定期考査 ・言語活動 ・学習課題の提出	
主体的に学習に取り組む態度		言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度が身に付いている。			・定期考査 ・言語活動 ・ポートフォリオ	
学 習 計 画						
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	古典文学（1） 地名のおこり 伊予の湯をめぐって 戦乱の世に		・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。			中間・期末
2 学 期	近・現代の韻文 俳句 短歌 古典文学（2） 各地に残る不思議 人生がかわるとき		・作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・言文一致体や和漢混交文などの歴史的な文体の変化について理解を深める。 ・古代に流れる時間と現代とのつながりを意識させる。			中間・期末
3 学 期	近・現代の散文 近代の散文 現代の散文		・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、地域社会に根付く郷土の文学者・文学作品に広く触れることで、地域文化を大切に継承していく態度を養う。			学年末